

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/06/19

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.67	0.08
JPY/THB	0.2251	0.0008
USD/JPY	145.13	-0.16
EUR/THB	37.50	0.10
EUR/USD	1.1480	0.0000
USD/CNH	7.195	0.003
SGD/THB	25.41	0.08
AUD/THB	21.26	0.16
USD/INR	86.47	0.23
USD Index	98.91	0.09

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.517	-0.013
10Y (THB)	1.685	-0.013
5Y (USD)	3.991	0.000
10Y (USD)	4.391	0.002

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,389.8	3.2
WTI (Oil)	75.14	0.3
Copper	9,655.5	-13.5

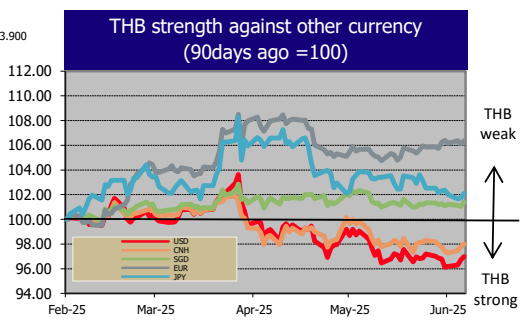
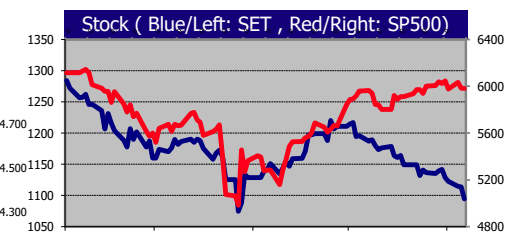
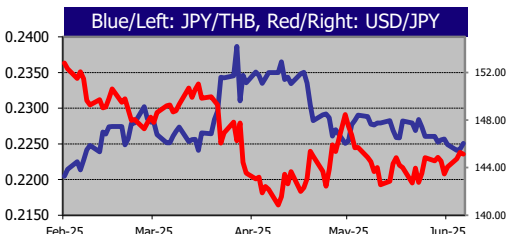
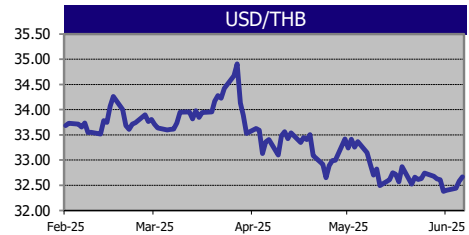
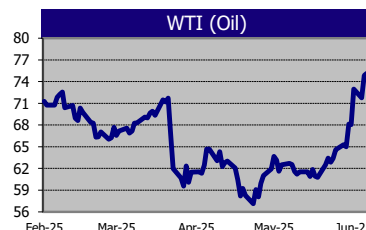
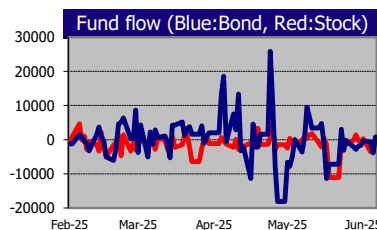
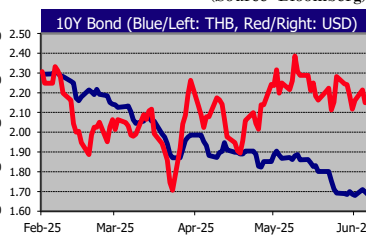
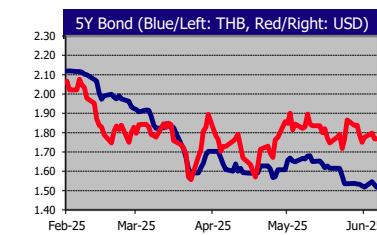
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,094.58	-19.00
NIKKEI (JP)	38,885.15	348.41
DOW (US)	42,171.66	-44.14
S&P500 (US)	5,980.87	-1.85
SHCOMP (CN)	3,388.81	1.40
DAX(GER)	23,317.81	-116.84

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,140)	-531.9
Bond net flow	829	4693.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは小幅に上昇。32パーツ台半ば付近で取引を開始すると、FOMCの結果公表を控える中で、方向感に欠ける推移が継続。海外時間に入り、注目のFOMCは、政策金利は市場予想通り据え置かれるも、ドットチャートでは年内利下げを予想しないメンバーの増加(4人→7人)、26年・27年の予想中央値上振れが確認される等、全般的にタカ派的な内容となり、ドル買い優勢の地合いに。ドルパーツも終盤にかけて底堅い推移を見せ、結局オープンから小幅にドル高の水準となる、32.67レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は僅かに下落。145円台前半の水準で取引を開始すると、特段材料ない中でじりじりと下落する展開。海外時間に入り、強弱まちまちな米経済指標を眺めながら一時144円台半ばを付けた。ただ、パウエル議長の会見内容を含め、タカ派的なFOMCを受けて反発。145円台に戻すと、終盤にかけて145円台前半の水準を維持しながら、そのまま145.13レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日の米FOMCは、結果はほぼ事前予想通りながら、どちらかというとタカ派の印象だった。政策金利は据え置き、年内の利下げ予想の中央値も前回3月同様2回となったが、中身をよく見ると年内利下げなしと見込むメンバーが前回の4人から7人に増えており、実は僅差の判断となっていたほか、その後行われたパウエル議長の記者会見では、物価押し上げ圧力が長期化するリスクが強調された。為替相場の動きもFOMC結果直後こそドル売りの反応だったが、その後はドル買いの動きに転じている。こうした中、来週25日はドルパーツの今後を見通すうえで重要なイベントとなるタイ中銀の政策決定会合が開催される。米FRBが先行き不透明感を理由に様子見姿勢を崩さないことで、タイも様子見を続けると予想する声も多くなっているが、気がかりなのは、足元ドルパーツの水準が昨年10月にタイ中銀が利下げへ方針転換したレベルに近くなりつつある点だ。足元の相場は、トランプ政権の政策に拒否反応を示すドル離れの動きと、中東情勢悪化によるドル買いの動きが混在しており、方向感が出にくい地合い。ただし、米国が対イラン軍事攻撃に加わるようなことがあれば、有事のドル買いが続くかは微妙なところだ。本日はNY休日であることから、値幅が出る展開にはならないかもしれないが、引き続き中東情勢関連のヘッドラインには留意したい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.